

## 令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

P T A名	静岡県立沼津特別支援学校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	219人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	短焦点プロジェクター
使用学年及び人数	全校生徒(219人)
使用頻度	ほぼ毎日
使用状況	<p>1年目から引き続き、それぞれの学年で、教師用パソコンや児童生徒の学習端末を接続し投影している。また行事や儀式、職員研修などでも使用し、教室内だけでなく体育館や会議室などでも使用している。</p>
物品の使用による 変化や効果  ※ 1年目との違いを 含めご記入ください。	<p>今年度は、寄贈して頂いたプロジェクターに、それぞれキャスターとマグネットスクリーンを教室に配置し、より使いやすい環境を構築することができた。機器がより身近になり様々な場面で活用している。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>今後は、プロジェクターへの接続機器、例えば、AppleTVなどの接続方法を研修し、教師だけでなく児童生徒も自分のデータを大きく映すことができるようにしていきたい。</p>
その他 希望や所感など	<p>寄贈して頂いたプロジェクターを軸に、必要な物品を揃え校内のICT環境が充実した。寄贈ありがとうございます。</p>

## 2. 活用の様子



投影距離が短いため、設置に場所を取りません。そのため手元での操作がしやすく、児童生徒の視界も妨げません。2年目であるため教職員も設置と活用に慣れてきました。



見せたいものを他の機器と連携させることで表示することができ、生徒もより注目し授業に取り組むことができます。



今回の授業は美術でしたが、できた個人作品を機器の連携により大きく映し、友達の前で発表することができました。生徒の自己肯定感を高めたり、主体的な取り組みに大変役に立っています。